

石川県こころの健康センター所報

第 43 号

(令和2年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2021 —

目 次

I こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

II 令和2年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付	8
(2) 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
(3) 精神医療審査会	11

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助	13
(2) 教育研修	15
(3) 普及啓発	17
(4) 精神保健福祉相談	20
(5) 組織育成	30
(6) ひきこもり社会参加復帰支援事業	33
(7) 依存症関連問題指導事業	37
(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	40
(9) 自殺予防対策推進事業	41
(10) 子どもの心のケア推進事業	45
(11) 精神障害者地域生活支援事業	50

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援	51
(2) 精神科医による相談事業	54
(3) 青年期グループ活動	55
(4) 就労者グループ活動	55
(5) 親のつどい	55
(6) 関係機関等との調整会議	55
(7) 機関コンサルテーション	56

(8) 個別支援のための調整会議	57
(9) 普及啓発及び研修	58

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問）	64
2 普及啓発活動	68
3 関係機関・団体との連携	70
4 集団活動	73
5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧	74

I こころの健康センター概要

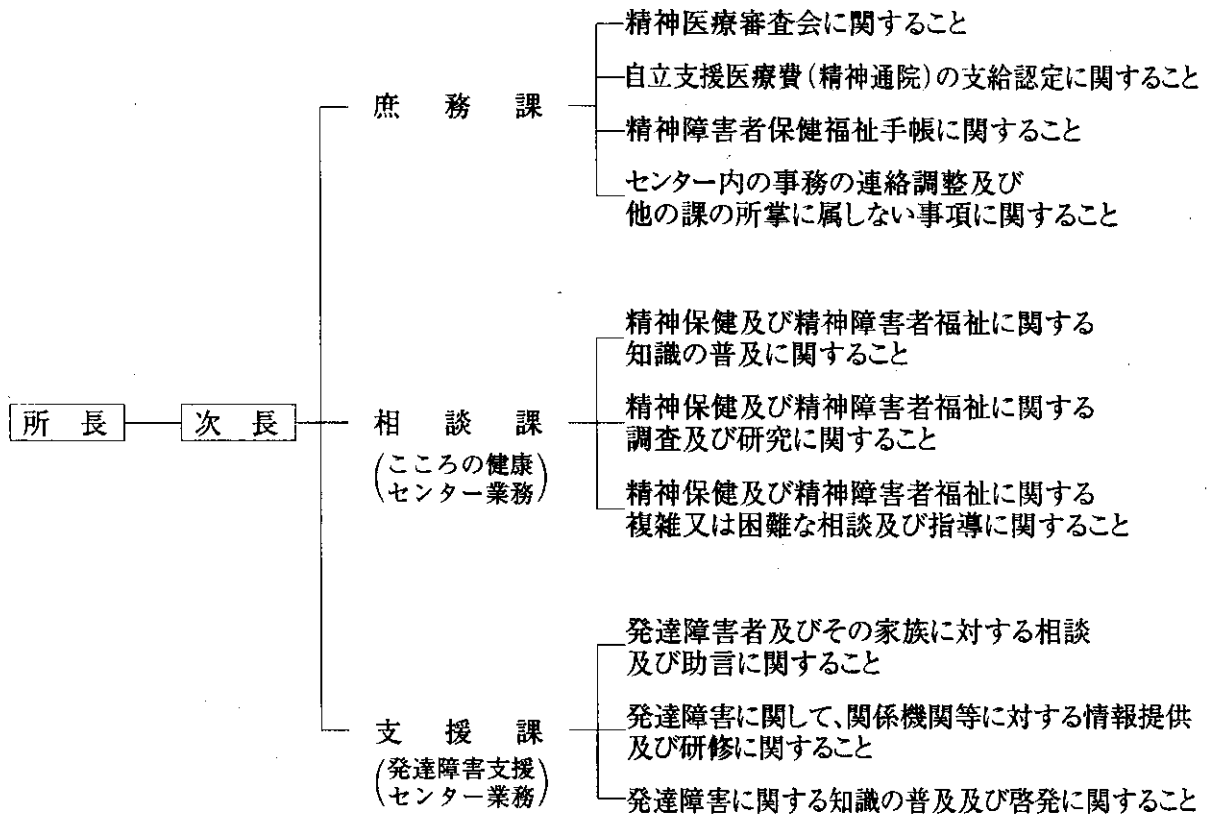
1 沿革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現所在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元 年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウンセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）を開始する。
ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業を開始する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。
ひきこもり家族交流会を開始する。

- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。
- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
- 11 月 自死遺族交流会 (J 交流会) を開始する。
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業 (CRT) を開始する。(～平成 26 年度)
- 平成 22 年 6 月 依存症教室を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。
- 平成 24 年 「かけがえのない命を守るネットワークいしかわ」を設立
- 平成 27 年 6 月 依存症家族交流会を開始する。
- 平成 27 年 7 月 依存症再発予防プログラムを開始する。
- 平成 31 年 4 月 石川県依存症相談拠点に選定される。
- 令和 3 年 2 月 「こころの相談ダイヤル」が 24 時間対応となる。

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(令和3年10月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	精 神 保 健 福 祉 士	福 祉 指 導 員	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3			2	2	7		4		18
	兼 務	1										1
	再 任 用 (31h)			1	1							2
任用 職員	會計年度 常勤の非常勤		1	1				1		1	1	5
	短時間非常勤 (29h)										1	1
	短時間非常勤 (29h未満)							1	10			11
計		1	4	2	1	2	2	9	10	5	2	38

(3) 課別職員数

(令和3年10月1日現在)

課 名	職 種	職 員			会計年度任用職員			計
		常 勤	兼 務	再任用 (31h)	常勤の 非常勤	短時間 非常勤 (29h)	短時間 非常勤 (29h未満)	
所 長	医 師		1					1
次 長 兼 庶務課長	事 務 職 員	1						1
庶務課	助 産 師			1	1			8
	事 務 職 員	3			1			
	事 務 補 助 員				1	1		
次 長 兼 相談課長	保 健 師	1						1
相談課	保 健 師	1			1			20
	精 神 保 健 福 祉 士	2						
	福 祉 指 導 員	1						
	心 理 判 定 員	4					1	
	電 話 相 談 員						10	
支援課	保 健 師	1						7
	看 護 師			1				
	福 祉 指 導 員	1						
	心 理 判 定 員	3			1			
計		18	1	2	5	1	11	38

4 業 務

I 庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

II 相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

(1) 企画立案

地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をしている。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から、技術指導及び技術援助を実施している。

(3) 教育研修

保健所、市町及び福祉事務所、社会復帰施設その他の関係諸機関で精神保健福祉業務に従事する職員の技術的水準の向上を図るための専門的研修を実施している。

(4) 普及啓発

県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識の普及を行うため、講演会の開催やパンフレット及びパネルの作成をするとともに、ビデオやDVDの貸出をしている。また、保健所、市町及び関係諸機関で開催する講演会や研修会に講師を派遣している。

(5) 精神保健福祉相談

幼児から老人まで、また自分自身のことから家族等に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じている。また、精神保健福祉相談の円滑な推進を図るための会議を開催するなど関係諸機関との連携を図っている。

(6) 組織育成

地域精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による家族会等の関係団体の育成に努め、活動を支援している。

(7) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備に努めている。

(8) ひきこもり社会参加復帰支援事業

ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図っている。

(9) 特定相談指導事業

アルコールや薬物などの特定相談に応じるとともに、それら関連問題の発生を予防するために、正しい知識の普及のための講演会や、当事者家族のための依存症教室や依存症再発予防プログラムを開催している。

(10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設している。

(11) 自殺予防対策推進事業

平成 19 年度に策定された「石川県自殺対策行動計画」に基づき、関係諸機関と連携し、誰もが相談しやすい窓口の設置や自殺予防講演会などの普及啓発、支援者の資質向上のための研修会の開催、未遂者支援体制整備や自死遺族のケアを行っている。

(12) 子どもの心のケア推進事業

子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指した相談対応や事例検討会、関係者育成セミナーなどを平成 20 年度から実施している。

Ⅲ 支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害者支援センター業務を担い「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

Ⅱ 令和2年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

ア 制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

イ 対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

ウ 障害等級

1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの

2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの

3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

エ 交付手続き

申請書に写真（上半身）と（ア）又は（イ）の書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

（ア） 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

（イ） 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

オ 審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、令和2年度は21回開催した。

カ 手帳の有効期間

2年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

キ 手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 28年度	申請	3,979	1,984	1,995	769	402	1,215	1,593	
	交付	1級	262	130	132	37	25	93	107
		2級	3,148	1,544	1,604	601	325	943	1,279
		3級	522	301	221	126	43	175	178
		計	3,932	1,975	1,957	764	393	1,211	1,564
平成 29年度	申請	4,364	2,355	2,009	857	405	1,498	1,604	
	交付	1級	285	141	144	35	36	106	108
		2級	3,514	1,884	1,630	695	323	1,189	1,307
		3級	532	313	219	120	40	193	179
		計	4,331	2,338	1,993	850	399	1,488	1,594
平成 30年度	申請	4,556	2,299	2,257	865	437	1,434	1,820	
	交付	1級	266	121	145	37	30	84	115
		2級	3,773	1,880	1,893	701	361	1,179	1,532
		3級	495	290	205	120	41	170	164
		計	4,534	2,291	2,243	858	432	1,433	1,811
令和 元年度	申請	4,787	2,524	2,263	866	418	1,658	1,845	
	交付	1級	269	130	139	31	31	99	108
		2級	3,974	2,055	1,919	693	352	1,362	1,567
		3級	513	332	181	137	29	195	152
		計	4,756	2,517	2,239	861	412	1,656	1,827
令和 2年度	申請	4,842	2,543	2,299	841	315	1,702	1,984	
	交付	1級	304	125	179	37	37	88	142
		2級	3,986	2,062	1,924	669	244	1,393	1,680
		3級	518	345	173	129	30	216	143
		計	4,808	2,532	2,276	835	311	1,697	1,965

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定

ア 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

イ 対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

ウ 申請手続き

申請書に(ア)又は(イ)の場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

(ア) 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

(イ) 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

※高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

エ 支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

オ 支給認定の有効期間

1年間 ※更新申請は有効期限の3か月前から可能

カ 受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状況 (単位：件)

年 度	計	保 険 者 別 内 訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成28	16,077	3,192	3,306	7,249	2,106	224
平成29	15,988	3,233	3,276	7,185	2,059	235
平成30	16,859	3,635	3,449	7,291	2,215	269
令和元	18,135	4,068	3,704	7,868	1,781	714
令和2	18,800	4,213	3,758	7,909	2,559	361

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532
平成26	532	5,070	814	6,416	14,074
平成27	538	5,475	911	6,924	14,577
平成28	518	5,964	999	7,481	15,154
平成29	527	6,526	1,031	8,084	15,656
平成30	542	7,120	1,024	8,686	16,220
令和元	585	8,081	1,104	9,770	18,053
令和2	567	8,111	1,074	9,752	18,813

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（令和3年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手帳	1級	26	43	29	3	41	21	288	13	15	6
	2級	372	594	304	31	793	330	3,890	245	194	184
	3級	79	123	54	5	113	66	399	30	28	26
	計	477	760	387	39	947	417	4,577	288	237	216
通院		1,031	1,525	729	56	1,596	809	8,505	559	505	387
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手帳	1級	9	4	8	25	5	10	2	12	7	567
	2級	126	92	62	406	124	147	50	115	52	8,111
	3級	16	12	15	51	19	16	2	12	8	1,074
	計	151	108	85	482	148	173	54	139	67	9,752
通院		339	244	179	1,051	335	392	138	246	187	18,813

(3) 精神医療審査会

ア 設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

イ 審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

(ア) 措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者退院支援審議記録、医療保護入院者の入院届、入院診療計画書

(イ) 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

ウ 委員構成

委員 10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

予備委員6名（医療予備委員2名 法律家予備委員2名 有識者予備委員2名）

エ 合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ設置し、審査は月1回交互に行う。

オ 令和2年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成23	50	33	—	31	—	1,316	—	2,343	—	3,740	—
平成24	37	33	—	31	—	1,314	—	2,487	—	3,869	—
平成25	34	25	—	30	—	1,287	—	2,577	—	3,928	—
平成26	29	29	—	25	—	1,294	—	2,683	—	4,031	—
平成27	39	37	—	27	—	1,235	—	2,833	—	4,134	—
平成28	25	23	—	26	—	1,260	—	2,869	—	4,180	—
平成29	32	30	2	28	—	1,214	—	2,877	—	4,151	2
平成30	27	23	4	34	—	1,164	—	2,873	—	4,098	4
令和元	21	20	3	17	—	1,174	—	3,027	—	4,239	3
令和2	25	24	5	32	—	1,205	—	2,855	—	4,117	5

注)入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術援助を行っている。

令和2年度の技術援助回数は693回で、支援内容としては、関係機関との連絡調整が340回(49.1%)と一番多かった(表1)。

保健所(県保健福祉センター及び金沢市福祉健康センター、以下「保健所」とする。)には40回(5.8%)で、保健所以外の行政・教育・福祉等の関係機関には653回(94.2%)であった(表2、表3)。

表1 技術援助回数

区分	計	事例 検討 会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	会議 への 参画	関係 機関と の連絡 調整	患者ク ラブ活 動等の 援助	学生教 育・実 習	情報提 供・ その他
合計	693	3	49	27	59	340	1	5	209

ア 保健所

令和2年度における保健所からの要請による技術援助は40回で、関係機関との連絡調整が19回と一番多く、次いで情報提供・その他が11回であった(表2)。

表2 保健所への技術援助及び技術指導回数

区分	計	事例 検討 会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	会議 への 参画	関係 機関と の連絡 調整	患者ク ラブ活 動等の 援助	学生教 育・実 習	情報提 供・ その他
南加賀保健福祉センター	8	0	1	1	2	3	0	0	1
石川中央保健福祉センター	7	1	1	0	0	4	0	0	1
能登中部保健福祉センター	3	0	0	0	0	2	0	0	1
能登北部保健福祉センター	5	0	0	0	1	3	0	0	1
金沢市福祉健康センター	17	0	2	0	1	7	0	0	7
合計	40	1	4	1	4	19	0	0	11

イ 関係機関（保健所を除く）

令和2年度の保健所以外の行政や教育、医療機関等の関係機関への技術援助は653回で、関係機関との連絡調整が321回、次いで情報提供・その他が198回であった（表3）。

関係機関の区分別では、国・県が346回と一番多く、次いで市町への技術援助が78回、医療が66回の順になっている（表3）。

表3 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区分	計	事例 検討会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	会議へ の参画	関係 機関と の連絡 調整	患者ク ラブ活 動等の 支援	学生教 育・実 習	情報 提供・ その他
国・県	346	0	13	8	16	213	0	0	96
市町	78	1	4	7	0	37	0	0	29
医療	66	0	15	2	3	17	0	0	29
福祉	16	0	0	3	0	11	0	0	2
教育	24	1	7	3	0	6	0	5	2
労働	22	0	5	1	2	6	0	0	8
各種精神保健団体	11	0	0	1	0	6	0	0	4
障害者支援施設等	11	0	0	0	0	4	1	0	6
司法	47	0	0	1	34	6	0	0	6
その他	32	0	1	0	0	15	0	0	16
合計	653	2	45	26	55	321	1	5	198

(2) 教育研修

令和2年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を9回開催した。

ア 精神保健福祉医療担当者研修会

地域における精神保健福祉医療業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者（2年未満）を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に研修会を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は中止となった。

イ 石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）研修会

石川県災害派遣精神医療チーム（DPAT）として活動する精神科医療機関の従事者を対象に、平時から、必要な知識や活動手法やケア技術、情報伝達等の訓練により、それらを習得し、災害発生に備えた精神医療の活動体制を構築することを目的に研修会を実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は中止となった。

ウ ひきこもり対策

（詳細は P34～36 参照）

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| (ア) ひきこもり対策ネットワーク会議 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止 |
| (イ) ひきこもり相談・支援者研修会 | 開催回数 3 回、参加者 88 人 |

エ 自殺予防関連研修会

（詳細は P42 参照）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| (ア) 包括的支援のための多職種事例検討会 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止 |
| (イ) ゲートキーパー指導者研修会 | 開催回数 1 回、参加者数 15 人 |
| (ウ) 救急告示医療機関職員等に対する研修会 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止 |

オ 子どもの心のケア推進事業（詳細は P47～P48 参照）

（ア）子どもの心の支援者研修会

a 子どもの心の問題に携わる関係者育成セミナー

講演会

開催回数 2 回、参加者数 113 人

b 発達障害等早期支援関係者セミナー

講演会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

（イ）子どもの心の支援事例検討会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

(3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。

ア 公開講演会

(ア) アディクション関連問題講演会（依存症関連問題指導事業（P38）に掲載）

(イ) こころの健康づくり講演会（自殺予防対策推進事業（P41）に掲載）

(ウ) ひきこもり対策公開講演会（ひきこもり対策推進事業（P36）に掲載）

イ 講師を派遣した講演会

	派遣先	内容	回数	参加人数
県	石川県教育委員会	SSW 等研修会「かけがえのない命を守る」	1	40人
	自治研修センター	職場のメンタルヘルス	4	310人
	石川県消防学校	初任教育メンタルヘルス	1	55人
	石川県立金沢産業技術専門校	精神障害・発達障害のついで基礎知識及び接し方・指導の仕方	1	30人
	石川県看護協会	医療勤務環境改善支援研修会	1	179人
市町	志賀町保健福祉センター	ゲートキーパー養成講座	1	19人
	加賀市立片山津中学校	SOS の出し方に関する教育	1	60人
	加賀市立東和中学校	SOS の出し方に関する教育	1	111人
教育	小松市立高等学校	コロナ禍におけるこころのケア	1	16人
	金沢中央高校	命の大切さ 自己肯定感について	1	95人
国	金沢地方法務局	人権擁護委員研修会	1	30人
その他	白山市社会福祉協議会	メンタルヘルスサポーターフォローアップ研修会	1	40人
	小松地区更生保護女性会	地区研修会～心のつながりの大切さ～	1	36人
	石川県各種女性団体連絡協議会	コロナ禍でのジェンダー平等を考える	1	135人
計			17	1156人

ウ 自殺予防街頭キャンペーン (詳細は P41 参照)

開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は中止となった。

エ 自殺予防に関する普及啓発資料 (詳細は P41 参照)

啓発媒体として、チラシ、ポスター、パンフレットを作成し、県民や関係機関へ配布した。

オ 障害者ふれあいフェスティバルにおける福祉相談コーナーの設置

開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本年度は中止となった。

カ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

媒体	内 容	発行部数
センター だより	第91号 特集「感染症とこころ」	600部
講演録	令和2年度子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー 「勇気づけの子育て—アドラー心理学から学ぶ—」	300部

キ マスコミ活用 (報道等で掲載されたもの)

期 日	報 道 機 関	内 容
R2.4/10,4/14,4/16,4/23,6/12	テレビ局 3社	新型コロナウイルスに関する心の相談について
R2.7/6	テレビ局 1社	自殺予防対策講演会について
R2.4/13,5/7,6/8	新聞社 3社	新型コロナウイルスに関する心の相談について
R2.6/15	新聞社 1社	自殺予防対策について
R2.8/21	新聞社 1社	ギャンブル依存症について

ク 普及啓発教材の貸出

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っており、令和2年度は1件の依頼があった。

ケ 関係機関情報の作成

石川県内の精神保健福祉に関する社会資源の情報をまとめ、ホームページに掲載した。

アドレス <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/shiryou.html>

(4) 精神保健福祉相談

令和2年度の精神保健福祉相談延件数は、11,010件で、電話相談が9,781件(88.8%)、来所相談が1,229件(11.2%)であった。来所相談の初回相談は448件であった。そのうち新来相談は333件であった。また訪問等は、109件実施した。(表1、表2)。

性別では、「男」が5,462件(49.6%)、「女」が5,548件(50.4%)であった(表1)。

年齢別では、「50～59歳」が3,672件(33.4%)と最も多く、次いで「30～39歳」が2,185件(19.8%)、「40～49歳」が1,777件(16.1%)となっている(表3、図1)。

相談区分では、「社会復帰」が4,620件(42.0%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が4,146件、「その他」が817件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、ひきこもりが696件と最も多く、次いで発達障害が465件となっている(表4)。

思春期相談(対象年齢12歳～18歳)は330件の相談があり、性別にみると「男」が149件(45.2%)、「女」が181件(54.8%)であった(表5)。

ア 電話相談

電話相談は、当センターへの電話相談及び専用電話「こころの相談ダイヤル」への相談を合わせたもので、令和2年度の相談件数(延件数)は9,781件であり、性別にみると男性4,603件(47.1%)、女性5,178件(52.9%)と、女性の方が575件多かった(表1)。

年齢別では、「50～59歳」が3,569件(36.5%)と最も多く、次いで「30～39歳」が1,780件、「40～49歳」1,687件の順であった(表3、図1)。

相談区分別では、「社会復帰」が4,498件(46.0%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が3,463件、「その他」が798件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、「ひきこもり」が303件(3.1%)と最も多く、次いで「発達障害」が236件であった(表4)。

内容別相談件数では「日常生活に関する心配・不安」が2,885件(29.5%)と最も多く、次いで「社会復帰・デイケアの問題」1,394件(14.3%)、「家庭内の問題」729件(7.5%)、の順であった(表6、図2)。

電話相談における対応状況としては、「傾聴・助言」が8,877件(90.7%)と最も多く、次いで「他機関紹介」が496件(5.1%)、「来所相談の勧奨」が261件(2.7%)であった(表7)。

なお、令和3年2月より、「こころの相談ダイヤル」は24時間対応となり、夜間・休日にも相談を受けている。

イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長または嘱託医（精神科医・小児科医）の診察を実施している。

令和2年度の来所相談件数（延）は1,229件であった（表1）。

年齢別では、「30～39歳」が405件（33.0%）と最も多く、次いで「20～29歳」が314件、「10～19歳」が196件の順であった（表3、図1）。

相談区分別では、「心の健康づくり」が683件（55.6%）で最も多く、次いで「思春期」が171件「社会復帰」が122件の順であった。相談区分をキーワードにより再掲（複数回答）すると、「ひきこもり」が393件（32.0%）と最も多く、次いで「発達障害」が229件であった（表4）。

内容別相談件数では、「ひきこもり」が327件（26.6%）と最も多く、次いで「性格・行動上の悩み」237件で、「日常生活に関する心配・不安」が115件の順であった（表6、図2）。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が133件（40.0%）と一番多い。次いで「医療機関（一般科）」が85件、「施設・学校」が34件の順であった（表8）。

来所相談における対応状況としては、「助言」が1,030件（83.8%）と最も多かった。来所者への診察は68件（うち「診断書発行」は8件）、検査は22件を実施している（表9）。また相談結果の紹介先として、「医療機関（主に精神科）」が15件であった（表10）。

来所相談における診断状況をみると、「不明（医師の診察を受けていない）」が556件（45.2%）で、半数以上を占めていた。診断された方は、「気分（感情）障害」が237件（19.3%）と最も多く、次いで「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」が69件（5.6%）、「心理的発達の障害」が63件（5.1%）の順であった（表11）。

表1 精神保健福祉相談実施状況

	男		女		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
電話相談	4,603	47.1%	5,178	52.9%	9,781	100%
来所相談	859	69.9%	370	30.1%	1,229	100%
初回相談	264	58.9%	184	41.1%	448	100%
新来	169	50.8%	164	49.2%	333	100%
継続相談	595	76.2%	186	23.8%	781	100%
計	5,462	49.6%	5,548	50.4%	11,010	100%

件数は延件数

電話相談は無言101件を除く

表2 精神保健福祉相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	訪問指導
H28	7,626	1,580 (188)	9,206	10
H29	7,728	1,259 (159)	8,987	7
H30	6,991	1,219 (190)	8,210	18
R1	8,355	1,339 (150)	9,694	30
R2	9,781	1,229 (333)	11,010	109

※件数は延件数（電話相談は無言 101 件を除く） 注：（ ）は内数で新来相談件数
 ※訪問等は来所相談の内数

表3 年齢別相談件数

年齢区分	相 談 区 分				合 計	
	電 話 相 談		来 所 相 談			
	件数	%	件数	%	件数	%
0～9歳	32	0.3%	18	1.5%	50	0.5%
10～19歳	210	2.1%	196	15.9%	406	3.7%
20～29歳	876	9.0%	314	25.5%	1,190	10.8%
30～39歳	1,780	18.2%	405	33.0%	2,185	19.8%
40～49歳	1,687	17.2%	90	7.3%	1,777	16.1%
50～59歳	3,569	36.5%	103	8.4%	3,672	33.4%
60～69歳	708	7.2%	46	3.7%	754	6.8%
70歳～	165	1.7%	26	2.1%	191	1.7%
不 明	754	7.7%	31	2.5%	785	7.1%
合 計	9,781	100.0%	1,229	100.0%	11,010	100.0%

※件数は延件数（電話相談は無言 101 件を除く）

図1 精神保健福祉相談における年齢別内訳

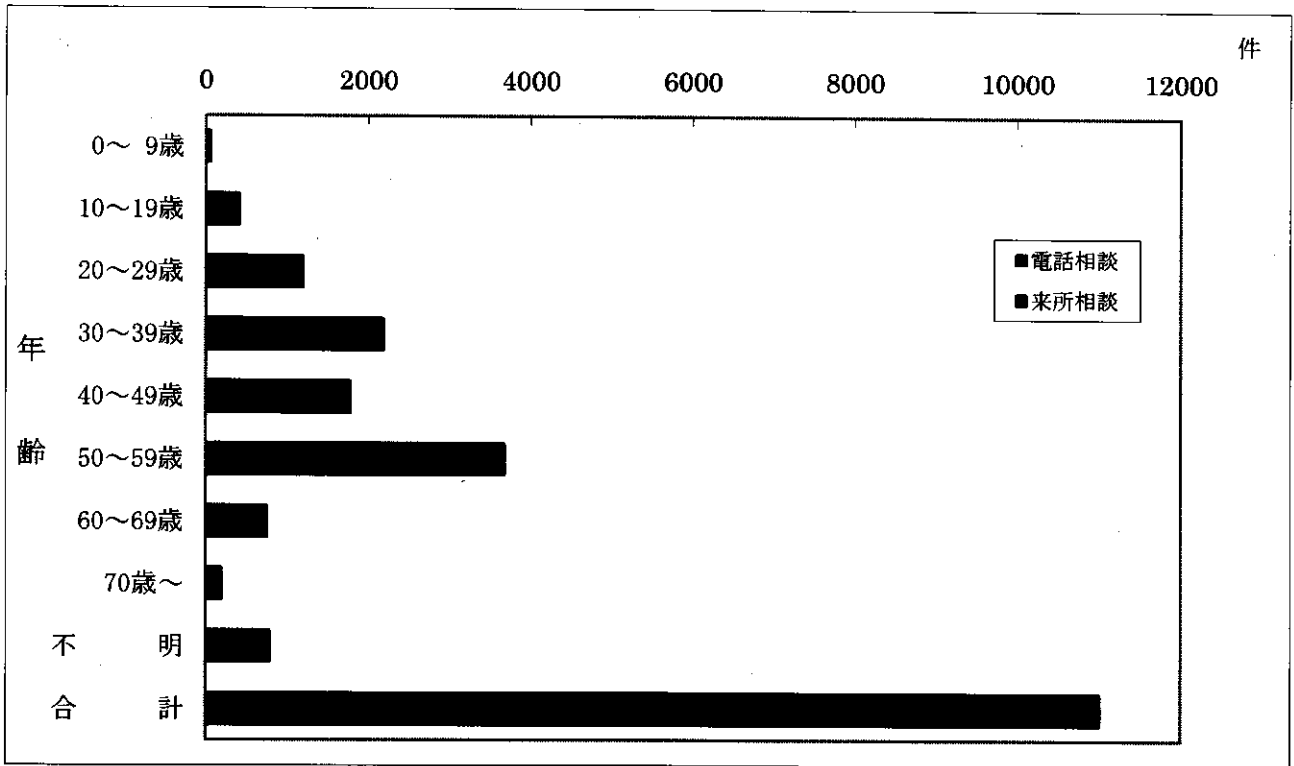


表4 相談区分別内訳

相談区分	令和2年度				令和元年度	
	電話相談	来所相談	(新来)※	合計	相談合計	
老人精神保健	66	1	1	67	33	
社会復帰	4,498	122	13	4,620	4,733	
アルコール	53	17	8	70	59	
薬物	8	2	1	10	24	
ギャンブル	77	87	20	164	86	
ゲーム	24	10	3	34	16	
思春期 ※※	159	171	70	330	225	
心の健康づくり	3,463	683	171	4,146	3,660	
うつ・うつ状態	617	115	34	732	524	
摂食障害	11	0	0	11	10	
てんかん	7	2	1	9	7	
その他	798	19	11	817	317	
計	9,781	1,229	333	11,010	9,694	
再掲 (*)	ひきこもり	303	393	32	696	731
	発達障害	236	229	17	465	858
	自殺	191	63	13	254	219
	(再)自殺遺族	15	20	2	35	39
	犯罪被害	3	0	0	3	0
	災害	0	0	0	0	0

※ 来所相談の(新来)は内数、電話相談は無言101件を除く

※※思春期は、12歳～18歳の者

* 再掲は、複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上

表5 思春期相談(男女別:再掲)

相談区分	男	女	合計(延)
電話相談	28件	131件	159件
来所相談	121	50	171
合計	149	181	330

表6 内容別相談件数

相談内容	相談区分				合計	
	電話相談		来所相談			
	件数	%	件数 (実)	%	件数	%
発達上の問題	43	0.4%	2 (2)	0.2%	45	0.4 %
不登校・学校不適応	82	0.8%	107 (65)	8.7%	189	1.7
ひきこもり	159	1.6%	327 (74)	26.6%	486	4.4
非行・反社会的問題	11	0.1%	4 (1)	0.3%	15	0.1
暴力	224	2.3%	81 (27)	6.6%	305	2.8
家庭内の問題	729	7.5%	41 (19)	3.3%	770	7.0
出産・育児上の悩み	40	0.4%	2 (2)	0.2%	42	0.4
更年期の悩み	1	0.0%	0 (0)	0.0%	1	0.0
高齢者の問題	47	0.5%	0 (0)	0.0%	47	0.4
仕事・職場の悩み	628	6.4%	68 (23)	5.5%	696	6.3
身体上の悩み	227	2.3%	0 (0)	0.0%	227	2.1
摂食障害	14	0.1%	0 (0)	0.0%	14	0.1
性格・行動上の悩み	336	3.4%	237 (59)	19.3%	573	5.2
対人関係上の悩み	307	3.1%	6 (6)	0.5%	313	2.8
アルコール問題	58	0.6%	18 (10)	1.5%	76	0.7
薬物問題	10	0.1%	2 (2)	0.2%	12	0.1
ギャンブル問題	80	0.8%	85 (28)	6.9%	165	1.5
アルコール・薬物・ギャンブル以外の依存	45	0.5%	60 (8)	4.9%	105	1.0
性についての悩み	57	0.6%	16 (0)	1.3%	73	0.7
日常生活に関する心配・不安	2,885	29.5%	115 (102)	9.4%	3000	27.2
神経症	10	0.1%	7 (1)	0.6%	17	0.2
精神障害への不安	621	6.3%	1 (1)	0.1%	622	5.6
病気の治療上の問題	418	4.3%	3 (3)	0.2%	421	3.8
社会復帰・デイケアの問題	1,394	14.3%	33 (8)	2.7%	1,427	13.0
精神障害者への対応	107	1.1%	2 (2)	0.2%	109	1.0
精神障害者の生活上の問題	669	6.8%	1 (1)	0.1%	670	6.1
情報提供	71	0.7%	0 (0)	0.0%	71	0.6
その他	508	5.2%	11 (4)	0.9%	519	4.7
合計	9,781	100%	1,229 (448)	100%	11,010	100.0

件数は延件数（実件数）

電話相談は無言 101 件を除く

図2 内容別相談件数

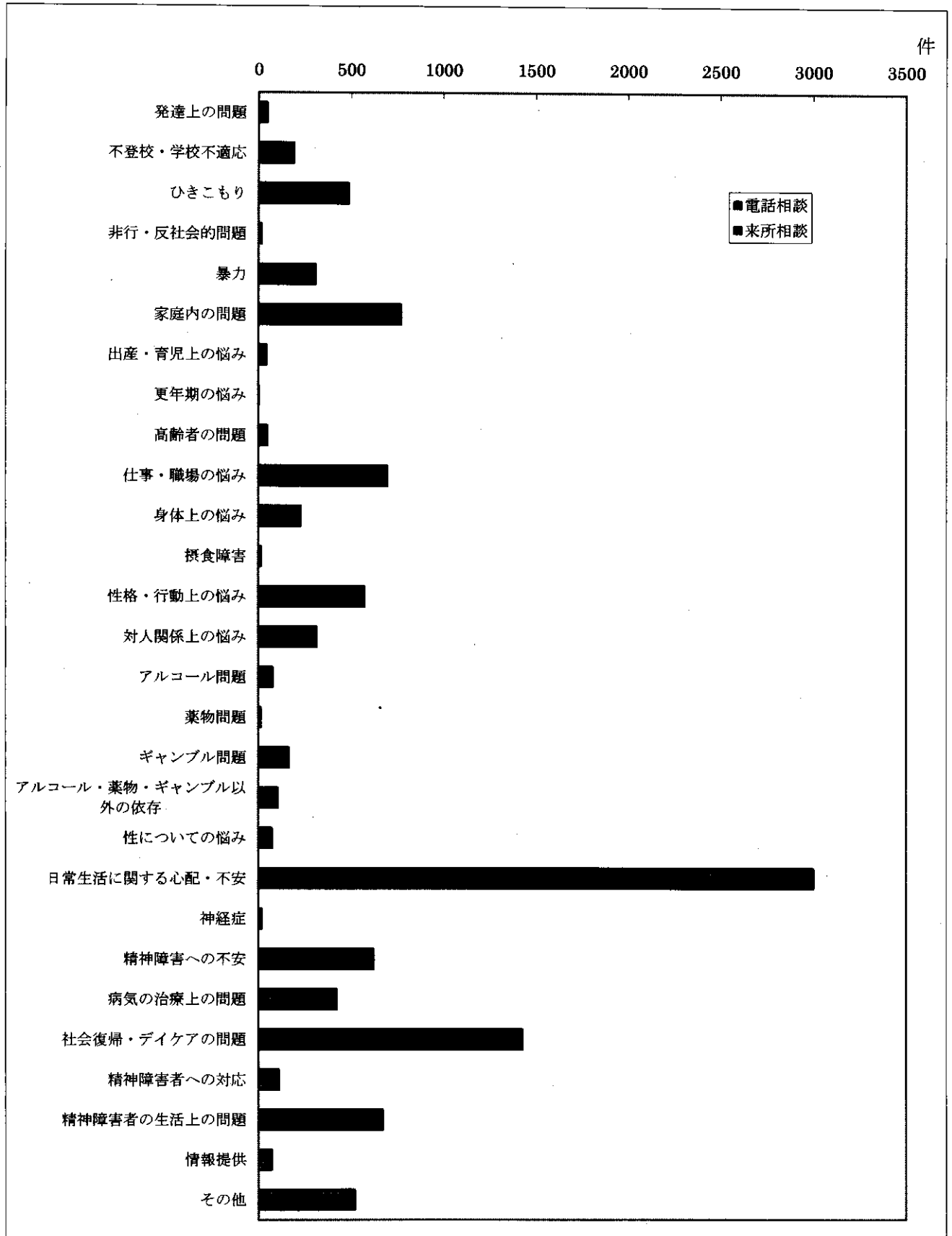


表7 電話相談における対応状況

区分	傾聴・助言	来所相談勧奨	他機関紹介	その他	再連絡	合計
件数	8,877	261	496	147	0	9,781
%	90.7%	2.7%	5.1%	1.5%	0.0%	100%

件数は延件数

表8 新来相談における来所経路

経路	性別	男	女	合計
直接（ホームページ等含む）		84	49	133
医療機関（精神科）		7	2	9
医療機関（一般科）		13	72	85
保健所		1	1	2
児童相談所		3	0	3
福祉事務所		0	1	1
児童・民生委員		0	0	0
施設・学校		17	17	34
ハローワーク（職業安定所・ジョブカフェ石川）		2	4	6
警察		0	0	0
県庁・市町役場		12	5	17
その他の相談機関		10	4	14
こころの相談ダイヤル		0	0	0
その他の電話相談		1	0	1
その他		19	9	28
合計		169	164	333

件数は実件数

表9 来所相談における対応状況

対応状況	来所者区分	初 回 相 談 (実件数)		継 続 相 談 (延件数)	合 計
			新 来		
助 言 ・ 継 続 面 談		317 ^件	206 ^件	713 ^件	1,030 ^件
診 察		46	45	22	68
	(内) 診 断 書 発 行	6	6	2	8
検 査 等 ※		10	9	12	22
訪 問		75	73	34	109
合 計		448	333	781	1,229

※ 知能・心理検査、検査結果の説明などを行ったもの

表10 来所相談における関係機関への紹介先

紹介先	来所者区分	初 回 相 談 (実件数)		継 続 相 談 (延件数)	合 計
			新 来		
医 療 機 関		12 ^件	12 ^件	3 ^件	15 ^件
保 健 所		1	1	0	1
福 祉 機 関		1	1	0	1
教 育 機 関		0	0	2	2
そ の 他		0	0	0	0
合 計		14	14	5	19

表 1 1 来所相談における診断状況

診断名	来所者区分		継続相談 (延件数)	合計	
	初回相談 (実件数)	新 来			
症状性を含む器質性精神障害	1 件	1 件	0 件	1 件	0.1 %
精神作用物質使用による 精神及び行動の障害	3	2	3	6	0.5
統合失調症、統合失調症型障害 及び妄想性障害	14	6	21	35	2.8
気分（感情）障害	80	65	157	237	19.3
神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	27	16	42	69	5.6
生理的障害及び身体的要因に関連した 行動症候群	0	0	0	0	0.0
成人の人格及び行動の障害	3	3	26	29	2.4
知的障害（精神遅滞）	8	4	7	15	1.2
心理的発達の障害	16	2	47	63	5.1
小児期及び青年期に通常発症する 行動及び情緒の障害	0	0	0	0	0.0
神経疾患等	7	6	0	7	0.6
てんかん	1	1	0	1	0.1
診断保留	68	53	142	210	17.1
不明	220	174	336	556	45.2
合計	448	333	781	1,229	100.0

(5) 組織育成

令和2年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、石川県精神保健福祉家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡会、石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、依存症関連自助グループの各団体である。

それぞれに対する支援の回数、参加人数は表1のとおりである。

表1 協力組織への支援

対 象	回 数	参加人数
石川県精神保健福祉家族会連合会	13	57
石川県精神障害者支援事業所連絡会	0	0
石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会	4	20
石川県精神保健福祉協会	16	991
依存症関連自助グループ	38	38
合 計	71	1,106

ア 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神保健福祉家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は、昭和48年から石川県内の保健所単位に地域家族会が結成され、昭和49年2月に10家族会による連合会が発足した。令和2年4月より名称を石川県精神保健福祉家族会連合会に変更した。病院家族会の参加や地域家族会の統合等により、令和2年度は、9家族会で、会員は150名である。

石家連への支援は、各理事会、精神障害者家族会と行政との懇談会など、計13回の支援を行った。

令和2年度はコロナ禍の中、病院長との懇談会が中止となったり、常務理事会や理事会が縮小された。

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

イ 石川県精神障害者支援事業所連絡会

平成5年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、活動を行ってきた。作業所数が大幅に増加したことから、平成8年5月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡会が発足し、月1回の例会等の活動を行っている。令和2年度は、12ヶ所の精神障害者支援事業所が参加している。当センターからは、総会や定例会の会場提供や出席を通して、活動を支援している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため総会等が中止となったため支援は行っていない。

ウ 石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会

昭和63年に当センターでメンタルヘルスボランティア講座が開催され、各グループによる積極的な活動が行われてきた。平成11年に連絡会が開催され、平成13年度には「石川県メンタルヘルスボランティア連絡協議会」が発足。令和2年度には6グループが活動している。当センターからは、総会での会場提供や出席を通して、活動を支援している。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため総会等が中止となり、役員会への出席のみであった。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和35年10月に石川県精神衛生協会が結成され、平成3年6月、名称を石川県精神保健協会、平成10年6月に石川県精神保健福祉協会と改めている。令和2年度会員は、個人会員303名、団体会員27団体、特別会員12病院となっている。

表2 精神保健福祉協会への支援

期 日	内 容	対 象	人 数
R2. 9. 5 ~ R3. 3. 20 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、 職域等の団体	3回 97人
R2. 4. 1 ~ R3. 3. 31 まで	〃 関係事務	〃	3回 3人
R2. 5. 12	表彰審査委員会(オンライン開催)	委員等	5人
R2. 5. 20	理 事 会	理事、監事等	11人
R3. 3. 16	〃 (オンライン開催)	〃	16人
R2. 6. 27	総 会 (書面表決結果報告)	全会員	書面表決 178人
	精神保健講演会 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防 止のため中止	会員、一般	
R2. 7. 19	精神保健福祉研修会 演題：「“普通”“自由”のパラドックスを生き る子どもたち：心理療法と親子キャンプ の実践から」	関係機関職員、 保健所、一般	90人
R2. 10. 17	第3回精神保健福祉フォーラム(精神保健福祉研究会) テーマ「石川のみんなで精神に障害のある人 たちを支えよう・第3弾～精神障害者 にも対応した地域包括ケアシステム の構築をすすめる」 パネルディスカッション ※オンライン開催(こころの健康センター で収録、ネットで生配信し、見逃した方 も11月末まで視聴可能とした)	関係機関職員、 保健所、一般	11月末ま で視聴者 延377人 当日ライ ブ視聴者 延71人
R3. 3. 5	産業と精神保健専門委員会 自殺防止対策セミナー ※会場研修とオンライン研修を同時開催	関係機関職員、 一般	45人
R3. 3. 13	教育と精神保健専門委員会研修会 演題：発達障害のある人の脳の使い方～自閉 スペクトラム症の言語発達を中心に～	関係機関職員、 教育関係者、 一般	33人
R3. 3. 13	地域精神保健専門委員会講演会 演題：「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋 渡し update～つまずきの原因の理解 と対抗～」	関係機関職員、 教育関係者、 一般	60人
R3. 3. 17	会報編集委員会(オンライン開催)	委員等	5人

計16回 991人

オ 依存症関連自助グループ

令和2年度における、当センターが把握している依存症関連自助グループは、アルコール、薬物、ギャンブル、摂食障害、ACなどに関する24グループである。活動に関する周知協力や、情報交換、ミーティングへの参加などを通して活動を支援している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためミーティングの開催が中止となったため支援回数が減少した。

(6) ひきこもり対策推進事業

平成 13 年 4 月から、青年期におけるひきこもりや不登校を対象として事業が開始され、平成 21 年度からは、ひきこもり地域支援センター事業を兼ねて実施している。

地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、個別相談や家族交流会、ひきこもり当事者グループ活動、必要に応じて関係機関への訪問等の活動を行った。

また、平成 26 年度から「ひきこもりサポーター養成研修」を実施し、保健所等への派遣を行っている。

令和 2 年度より、ひきこもり支援に関する研修会や、一般向けの公開講演会を実施した。市町、保健所への技術的な援助として、ひきこもり支援専門職チームの派遣も行った。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日は設けず、随時相談に応じている。

表 1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電 話 相 談	303 件
来 所 相 談	387 件
訪 問 等	6 件
メ ー ル へ の 対 応	2 件
合 計	693 件

イ ひきこもり当事者グループ(悠友クラブ) 活動

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適合からの脱却を図るために実施した。

日 時：毎週木曜日 13:30～15:30

回 数：年 36 回（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止の期間あり）

内 容：スポーツ、散策、ゲームなど、参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね 18 歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数 12 人（男性 7 人女性 5 人）延べ 110 人

ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族がその経験や思いを共有することで、孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱える問題への対応能力を向上するために、交流会を開催した。

日 時：年 5 回土曜日 13：30～15：30

内 容：①ウォーミングアップ（気分調べ）②ワーク（初回のみ講義）③終わりの感想

対 象：当センターで個別相談を継続している家族、及び「ひきこもり家族教室」や「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族

表 2 開催状況

開催日	テーマ	参加数
令和 2 年 10 月 17 日	ひきこもりの若者をとりまく状況	3 家族 3 名
平成 2 年 12 月 19 日	ひきこもりサポーターによる体験発表	5 家族 7 名
令和 3 年 2 月 20 日	前向きなコミュニケーションについて考えよう	5 家族 6 名

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため 6 月、8 月は開催中止

エ ひきこもり対策地域ネットワーク会議

ひきこもり相談支援に関する連携が効果的かつ適切に機能することを目的に、関係機関による連絡会及び講演会を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き令和 2 年度も中止となった。

オ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもり経験のある当事者や家族が自らの経験を生かしてひきこもりに悩む当事者や家族の支援をする、「ひきこもりサポーター」を養成するとともに、研修終了後、行政機関や団体等が行う相談や支援等にひきこもりサポーターとして活動することを希望する者を登録しているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

カ ひきこもりサポーター派遣

保健所等が開催するひきこもり教室等において、ひきこもり家族や支援者が、その経験を聞き対応等を学ぶために、登録したひきこもりサポーター(当事者または家族)を派遣した。

表3 ひきこもりサポーターの派遣状況

派遣先	当事者		家族	
	回数	人数	回数	人数
南加賀保健福祉センター	1回	2人	-	-
こころの健康センター	2回	2人	1回	1人
計	3回	4人	1回	1人

キ ひきこもりサポーターフォローアップ研修

登録しているひきこもりサポーターを対象に、活動上の不安の解消、実際の活動に関する情報の共有、サポーター同士の繋がり強化を図るために研修会を例年開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

ク ひきこもり相談・支援者研修会

ひきこもりの相談対応に必要な知識及び基本的な姿勢について習得し、ひきこもり本人・家族への支援が適切に行える人材を養成するため、研修会を開催した。

実施日	内容	講師	人数
令和2年10月2日 10:00~16:10	説明①石川県内のひきこもり支援体制について 説明②複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制について 講義①ひきこもりの正しい理解 講義②ひきこもりの支援の実践から 体験発表①(当事者)	石川県障害保健福祉課 石川県厚生政策課 鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊先生 ひきこもりサポーター1名	29人

令和2年10月5日 10:00～15:50	講義③ひきこもりの本人と家族支援について 講義④ひきこもりの相談支援の実際に必要な視点 体験発表②（支援者）	長岡崇徳大学 教授 斎藤 まさ子先生 KHJ いまここ親の会 林 昌則氏	28人
令和2年10月21日 13:30～15:30	講義⑤ひきこもりの長期化及び親の高年齢ケースにおける支援の実際	白梅学園大学 教授 長谷川 俊雄先生	31人

ケ ひきこもり対策公開講演会

ひきこもり状態による生き辛さを抱える人たちについて正しく理解し、ひきこもり状態の長期化や生活困窮状態を防ぐことを目的に開催した。

日 時：令和2年10月21日 10:00～12:00

場 所：石川県教育会館（金沢市香林坊1丁目2-40）

テーマ：「ひきこもり当事者の気持ちの理解と社会参加」

講 師：白梅学園大学 教授 長谷川 俊雄先生

対 象：ひきこもりでお悩みのご家族、本人、ひきこもりの問題や若者社会参加に関心のある方、民間支援機関関係者、民生・児童委員、行政関係者等

参加者：31名

コ ひきこもり支援専門職チーム派遣事業

令和2年度より精神科医等によるひきこもり支援専門職チームを設置し、地域での処遇困難事例に対しての検討会における技術的な助言や、対象者への自宅訪問等による直接的な支援を行うこととした。

依頼元	内容	場所
金沢市	事例検討会 1 ケース	駅西福祉健康センター
石川中央保健福祉センター	事例検討会 2 ケース	津幡町役場
南加賀保健福祉センター	事例検討会 1 ケース	能美市役所

(7) 依存症関連問題指導事業

ア 特定相談指導

表1 相談指導状況

区分	来所相談			電話相談	その他 (メール・手紙)
	計	男	女		
アルコール問題	18 (10)	11 (7)	7 (3)	58	1
薬物問題	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10	0
ギャンブル問題	85 (28)	78 (26)	7 (2)	80	0
アルコール・薬物・ギャンブル以外	60 (8)	49 (5)	11 (3)	45	0
計	165 (48)	140 (40)	25 (8)	193	1

件数は延人数 (カッコ内は実人数)

イ 依存症教室

アルコールや薬物、ギャンブルへの依存と自殺には密接な関係があると指摘されている。アルコールや薬物、ギャンブル依存症の当事者、家族、支援者が、依存症に対する理解を深め、適切な対応や支援が行えることを目的に、依存症教室を開催した。

内 容：講義及び参加者からの質疑、講師からの助言

表2 依存症教室の開催状況

開催日	テーマ	講師	参加数(人)
令和2年8月31日	依存症からの回復の希望と道すじ	岡部診療所 西念 奈津江氏 (ソーシャルワーカー)	6
令和2年8月18日	ギャンブル障害の基礎知識とSAT-Gを用いた支援	島根県立心と体の相談センター 佐藤 寛志氏 (主任精神保健福祉士)	21
計			27

ウ 事例検討会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ アディクション関連問題講演会

依存症に対する理解を深め、対応を学ぶことを目的に、公開講演会を開催した。

開催日：令和2年8月22日（土）

講師：予防医療研究所代表 磯村 毅氏（医師）

内容：講演「脳から見た依存症のカラクリ～酒、タバコ、スマホ～」

対象：一般県民、当事者、家族、保健・医療・福祉・司法関係従事者 45人

オ 依存症家族交流会（サンサンの会）

アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族が、適切な理解と対応を学び、同じ立場で分かち合える場として、平成27年度から家族交流会を開催している。

対象及び人数：アルコール、薬物、ギャンブル依存症者の家族（実12人、延21人）

内容：書籍『アルコール・薬物・ギャンブルで悩む家族のための7つの対処法CRAFT』を用い、読み合わせとワーク、分かち合いを行う。

表3 サンサンの会の開催内容

回	テーマ
第1回	コミュニケーションを変える（※中止）
第2回	望ましい行動を増やす
第3回	イネイブリングをやめるとは
第4回	あなた自身の生活を豊かにする

* 4回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため第1回は中止となり3回開催

カ 依存症再発予防プログラム（いしかわ〜ぷ）

アルコール、薬物依存症の当事者が、回復に向けて具体的かつ効果的に取り組むことを目的として、平成27年度から開始した。令和2年度は、集団プログラムを1クール8回セッションで年2クール開催した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止となり計15回開催。）

対 象：アルコールや薬物の使用について困っている本人で、その使用を止めたいと願う者

参加人数：実2人、延べ5人

内 容：テキスト「いしかわ〜ぷ」（ISHIKAWA mental health center Relapse Prevention Program）を使用した集団プログラム
1クールにつき2回、富山ダルク職員にリカバリングスタッフとして出席を依頼した。

表4 いしかわ〜ぷ各回のテーマ

回	テーマ
第1回	(1) アルコールや薬物が脳に与える影響 (2) 引き金と渴望
第2回	(1) 思考停止法 (2) 外的な引き金と内的な引き金
第3回	(1) 回復の地図 (2) 回復初期によく起こる問題とその解決方法
第4回	自助グループー信頼・正直さ・仲間
第5回	(1) 思考・感情・行動 (2) アルコールについて考える
第6回	(1) 再使用を防ぐためにーその1ー (2) 再使用を防ぐためにーその2ー
第7回	再使用を防ぐためにーその3ー
第8回	強くなるより賢くなろう

(8) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

ア DV相談件数

表1 DV個別相談件数

区 分		計	電 話 相 談	来 所 相 談
DVに関する相談件数		398件	335件	63件(19)
うちDV抑止に関する相談		321件	260件	61件(15)
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	295件	235件	60件(14)
	加 害 女 性	0件	0件	0件(0)
	被 害 女 性	25件	24件	1件(1)
	被 害 男 性	1件	1件	0件(0)
	加害男性の家族等	0件	0件	0件(0)
	被害女性の家族等	0件	0件	0件(0)
	そ の 他	0件	0件	0件(0)

※ () は実件数

(9) 自殺予防対策推進事業

ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

(ア) 自殺予防街頭キャンペーン等 ※実施なし

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年、9月10日から16日までの一週間で「自殺予防週間」として設定し、県民に自殺予防の呼びかけやうつ病等の精神疾患に対する正しい知識や相談窓口等の周知について普及啓発することを目的に該当キャンペーンを例年開催していたが、R2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施しなかった。

(イ) 自殺予防に関する普及啓発資料

こころの健康づくり講演会「“ありのまま”に生きる～自己肯定感を知る～」
チラシ 4232部

(ウ) 講演会

日時 令和2年7月19日(日) 13:00～17:00

講師 平野 直己 氏 (北海道教育大学 教授)

内容 講演「“普通” “自由” のパラドックス」を生きる子どもたち
: 心理療法と親子キャンプの実践から」

シンポジウム

登壇者 高 賢一 氏 (金沢学院大学 教授)

高木 真理子 氏 (子ども夢フォーラム 代表)

平野 直己 (北海道教育大学 教授)

参加者 一般県民 90人

イ 自殺予防のための相談・支援の充実

(ア) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ(以下の民間団体:石川県宗教連盟、NPO ささえる絆ネットワーク北陸、NPO しあわせの輪グループ、NPO 法人金沢あすなる会、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、子ども夢フォーラム、一般財団法人メンタルケア協会石川事務所、ひまわりの会、小さな天使のママの会)と県が連携し、

自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内容	団体数及び参加数
1回	H2.6.10	自殺予防週間関連講演会の事業計画 検討	8団体 12人
2回	R2.12.24		8団体 13人
3回	R3.2.24		7団体 11人

(イ) 包括的支援のための多職種事例検討会 ※実施なし

平成26年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを例年検討していたが、R2年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施しなかった。

ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

(ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

a ゲートキーパー指導者研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。

日時：令和2年10月16日（水）13:00～17:00

講師：こころの健康センター所長・精神科医 角田 雅彦

内容：講演「ゲートキーパー指導者にとって大切なこと」

グループディスカッション「新型コロナウイルス感染禍での心のケア」

「世代別のゲートキーパーの役割と実践」

演習「自殺念慮を聞き出す」

参加者：行政、関係機関にいける自殺対策担当者 15人

b ゲートキーパー出前講座（※）

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

	実施機関	対 象	参加数
県	石川県人事課	新任係長（4回）	143人
	教育委員会	スクールソーシャルワーカー	40人
市町	加賀市	東和中学校中学1年生	111人
		片山津中学校中学1年生	60人
	志賀町	職員	19人
その他	白山市社会福祉協議会	メンタルヘルスポランテニア 傾聴ボランティア 市民カウンセラー養成講座修了者	40人
	石川県看護協会	医療従事者	179人
	金沢地方法務局	人権擁護委員	30人
	石川県各種女性団体連絡協議会	一般県民	135人
	石川県高等学校保健会	養護教員	16人
	小松地区更正保護女性会	更正保護女性会会員	36人
	労働局	ハローワーク職員	220人
	石川県社会福祉協議会	民生委員児童委員	154人

※「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」よりゲートキーパー養成関連を再掲

※ DVDを配布し、視聴したものを含む

(イ) 若い世代のこころの健康づくり事業

高校生や専門学校生等を対象にした自殺予防のためのこころの健康教育、ゲートキーパー研修等を実施した。

実施日	対象	参加数
R2.10.1	金沢中央高校（学生：2年生）	95人
R2.10.16	金沢医科大学（学生）	12人

エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

例年、自殺未遂者の再企図の防止や、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を目的に、精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けた研修会や事例検討会等を実施していた。R2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため研修会等は実施せず、自殺未遂者支援の一環として一般県民を対象に講演会を開催した。

(ア) 自殺予防対策講演会

実施日：令和2年7月11日（金） 13：30～16：00

テーマ「コロナ不況を乗り越えるために」

(1)13：30～14：30 講演

「コロナ不況を経済的に乗り越える」

石川法律事務所 石川 宏一朗 氏（弁護士）

(2)14：40～16：00 講演及び質疑応答

「コロナ不況を精神的に乗り越える」

石川県こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

参加人数：26人

(イ) 救急隊員に対する研修（技術支援）

実施機関：消防学校

日時：令和2年7月22日

内容：「メンタルヘルス(含むと勤務)」

対象者：消防新任職員 55人

オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

(ア) 自死遺族交流会（J交流会）

家族を自死（自殺）で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月第1土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：4回（5月、9月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止）

参加数：実9人 延べ18人

(10) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、平成20年度から「いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業」を開始し、平成24年度からは「子どもの心のケア推進事業」として事業を行っている。

ア 子ども心のケア相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

(ア) 電話相談実績

表1 電話相談件数と相談者の内訳

(人)

年代	延件数	相談者内訳		
		父	母	その他 (**)
幼児	2	0	2	0
小学生	36	4	27	5
中学生	51	9	35	7
高校生	115	6	84	25
その他 (*)	22	4	12	6
計	226	23	160	43

その他 (*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他 (**): 本人、祖父母、学校等

表2 電話相談内容(延)

	発達上の 問題	不登校・ ひきこもり	非行・ 暴力	家庭内の 問題	出産・育児 上の悩み	身体上の 悩み	摂食障害	性格・行動 上の悩み	対人関係 の悩み	依存関係	性につい ての悩み	日常生活 の不安	病気の不安 等	情報提供・ その他	計
幼 児	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
小学生	6	10	1	1	1	0	0	6	1	2	2	2	1	3	36
中学生	2	14	4	2	3	0	4	4	2	8	0	1	3	4	51
高校生	0	35	1	13	0	2	0	38	4	4	2	4	6	6	115
その他	0	10	0	2	0	0	0	1	1	1	0	2	3	2	22
計	8	69	6	18	6	2	4	49	8	15	4	9	13	15	226

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

(人)

年代	実件数	延件数	相談者内訳 (重複あり)			
			父	母	本人	その他(**)
幼 児	0	0	0	0	0	0
小学生	3	16	2	14	16	0
中学生	6	21	14	10	18	3
高校生	18	56	6	52	17	1
その他 (*)	0	0	0	0	0	0
総 計	27	93	22	76	51	4

その他 (*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者、 その他 (**) : 祖父母、学校等

表4 来所相談内容 (実件数内訳)

	発達上の 問題	不登校・ ひきこもり	非行・ 暴力	家庭内の 問題	出産・育児 上の悩み	身体上の 悩み	摂食障害	性格・行動 上の悩み	対人関係 の悩み	依存関係	性につい ての悩み	日常生活 の不安	病気の不安 等	情報提供・ その他	計
幼 児															
小学生		2						1							3
中学生		3						1		1		1			6
高校生		12						3	1	1		1			18
その他															
計		17						5	1	2		2			27

表5 来所相談の経路（実件数内訳）

	直接	医療機関からの紹介	学校からの紹介	その他	年代別計
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	2	0	1	0	3
中学生	2	0	2	2	6
高校生	8	0	6	4	18
その他(*)	0	0	0	0	0
計	12	0	9	6	27

その他(*)：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介（病院等）	年代別計	他機関と連携（※再掲）
幼 児	0	0	0	0	0
小学生	1	2	0	3	1
中学生	3	1	2	6	3
高校生	10	2	6	18	9
その他(*)	0	0	0	0	0
計	14	5	8	27	13

その他(*)：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

※再掲：医療機関・保健福祉センター・市町・学校・その他機関

イ 子どもの心の支援者研修会

(ア) 子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー

目 的：医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

参集者：子どもの心の問題に携わる医療・保健・教育・福祉等関係者

内 容：講演会及び事例検討会

<1回目>

日時：令和2年8月8日（土）14：00～16：45

講師：日本アドラー心理学認定指導者、同心理療法士、同家族コンサルタント

大竹 優子 氏 （医師）

テーマ：「勇気づけの子育て ―アドラー心理学から学ぶ―」

参加者数：73人

<2回目>

日時：令和2年9月27日（日）13：30～15：00

講師：日本医師会認定産業医、労働衛生コンサルタント、作家、日本マインドフルネス普及協会代表理事

奥田 弘美 氏 （精神科医師）

テーマ：「子どもと接する人に役立つ、心を整えるためのマインドフルネス瞑想とセルフケア」

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

<3回目>

日時：令和3年3月14日（日）13：30～16：30

講師：RESM 新横浜睡眠・呼吸メディカルケアクリニック 副院長

川野 泰周 氏 （精神科医師）

テーマ：「子どもと接する人に役立つ、心を整えるためのマインドフルネス瞑想とセルフケア」

参加者数：40人

ウ 子どものこころの支援事例検討会 ※実施なし

目的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施し、子どもを診る専門医、専門家および関係者の育成強化を図る。

(ア) 未就学児等事例検討会

(イ) 児童・青年期事例検討会

例年2～4回ずつ事例検討会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため研修が全てオンライン開催となり、個人情報保護や情報流出防止のため、開催が困難であった。

今後、事例検討会の安全な開催方法を検討していく必要がある。

エ いしかわ子どものこころのケアネットワーク事業検討会

目的：「いしかわ子どものこころのケアネットワーク事業」を円滑に実施するために、子どもに関わる各分野の関係者による検討会を開催している。

実施主体は県庁少子化対策監室。当センターは事務局として参加している。

日時：令和3年2月13日（木）19：00～21：00

場所：石川県庁行政庁舎1104会議室

参集者：医療・保健・教育・福祉関係者

内容：各機関における子どものこころのケア推進に係る取り組みについての報告事例検討

オ 中央で開催された高度な研修・会議への参加

(ア) 子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議（令和2年度第2回）

日時：令和3年1月22日（金）

開催方法：オンライン

※県庁少子化対策監室職員が参加

カ 普及啓発

子どもの心の問題に関する診療及び相談機関の情報を新たに収集し、小冊子「子どもの心の診療・相談機関情報ガイド（精神科・診療内科・小児科等標榜医療機関及び相談機関：平成29年3月発行）」を発刊し、周知を図っている。

また、子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院事務局（国立成育医療研究センターこころの診療部内）が作成する「子どもの心の診療機関MAP」に県内の精神科及び小児科の各医療機関の診療情報を掲載するため、各々の機関に協力依頼を行い、情報提供を行っている。

(11) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図る。

ア ピアサポーターの養成研修会

長期入院患者等に対し、退院を促進し、地域での在宅生活に向けて仲間をサポートできるピアサポーターを養成するとともに、これまで養成したピアサポーターのフォローアップとして研修会を開催した。

日 時：令和2年12月4日（金）13:30～16:30

場 所：石川県こころの健康センター研修室

参加者：ピアサポーターの活動を希望する精神障害者、ピアサポーター、精神科病院・クリニック等が運営する相談支援事業所職員、精神科病院職員（退院後生活環境相談員、精神保健福祉士等）、地域体制整備コーディネーター、保健所職員等 39人

内 容：講 義 「ピアサポーターの基礎知識」
発表者：ピアサポーター 廣瀬 研恵 氏
体験発表 「ピアサポーターとしての活動」
ピアサポーター6名による体験発表

イ ピアサポーターの派遣

精神科病院、相談支援事業所と連携して、登録しているピアサポーターを派遣し、入院患者の地域生活への動機付けのための病院訪問や外出時の同行支援等を通じて退院促進を図った。

(ア) ピアサポーターの新規登録人数：1人

(イ) ピアサポーターの派遣回数及び人数

派遣内容等	回 数	人 数
医療機関への派遣	0回	0人
ピアサポーター養成研修	1回	3人

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためピアサポーターの医療機関への派遣は行われなかった。

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で1～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して支援する「発達支援」、就労に関して支援する「就労支援」を行っている。

※支援は「相談支援」から始まり、支援計画を立てて、継続的支援である「発達支援」「就労支援」に切り替える。

表1 年齢別

年齢区分（歳）		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	12	29	61	27	29	218	75	451人
	延件数	15	48	82	63	72	498	76	854件
発達支援	実人員	22	92	39	8	8	35	0	204人
	延件数	268	1,276	375	81	79	319	0	2,398件

年齢区分（歳）		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	53	53人
	延件数	0	554	554件

表2 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	183
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	358
利用できる制度について知りたい	49
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	158
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	44
進路や将来の生活に関する相談をしたい	48
対応困難な状況の改善について相談したい	11
今後の就労について相談したい	71
現在勤めている職場に関する相談をしたい	56
その他	230
合 計	1,208件

※相談時毎の相談内容を計上。複数チェックあり

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	199	1	604	50	854件
発達支援	387	1,869	136	6	2,398件
就労支援	322	0	220	12	554件
合 計	908	1,870	960	68	3,806件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	6	3	1	10
アスペルガー症候群	5	1	1	7
広汎性発達障害	82	58	46	186
A D / H D	29	8	5	42
L D	1	1	0	2
そ の 他	48	20	0	68
不明（未診断含む）	280	113	0	393
合 計	451人	204人	53人	708人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本人	358	1,292	452	2,102
保護者・親族	369	1,089	57	1,515
保育所・幼稚園	0	0	0	0
小学校	1	0	0	1
中学校	0	5	0	5
高等学校	12	3	0	15
特別支援学校	0	0	0	0
専門学校・短大・大学	0	0	0	0
教育委員会	0	1	0	1
市町保健センター	3	0	0	3
保健所	3	0	0	3
児童相談所	2	0	0	2
行政	8	1	0	9
医療機関	46	7	3	56
企業	15	0	0	15
公共職業安定所	0	0	3	3
障害者職業センター	2	0	6	8
地域若者サポートセンター	0	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	0	0	1	1
相談支援事業所	9	0	20	29
就労移行支援事業所	1	0	5	6
就労継続支援事業所	0	0	2	2
その他	25	0	5	30
合計	854件	2,398件	554件	3,806件

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	170	34	204人
就労支援（実人員）	40	13	53人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	9	7	26	162	204人
就労支援（実人員）	0	1	1	51	53人

(2) 精神科医による相談事業

嘱託の精神科医による相談を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

相談事業結果

実 施 回 数		5回
来 所 実 人 員		6人
来 所 延 人 員		6人
年齢別	0 ~ 3 歳	0
	4 ~ 6 歳	1
	小 学 生	0
	中 学 生	0
	1 6 ~ 1 8 歳	2
	1 9 歳 ~	3
	合 計	6
診察結果	障 害 な し	0
	経過観察 (判定保留)	2
	自 閉 症	0
	アスペルガー症候群	0
	広汎性発達障害	4
	A D / H D	0
	知 的 障 害	0
	そ の 他	0
	合 計	6
支援内容	センターで継続支援	6
	医療機関紹介	0
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	0

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症スペクトラム障害含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

年 度	相談支援	発達支援	就労支援	計
H28	1,711 (593)	4,501 (343)	1,134 (88)	7,346 (1,024)
H29	1,288 (647)	4,168 (310)	1,184 (89)	6,640 (1,046)
H30	1,110 (590)	4,139 (297)	1,044 (78)	6,293 (965)
R 元	1,109 (605)	3,519 (251)	702 (62)	5,330 (918)
R2	854 (451)	2,398 (204)	554 (53)	3,806 (708)

注：() は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、週 1 回午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
33 回	7 人	158 人	対人マナー、社会見学、ストレス解消法等

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、月 1 回午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
10 回	6 人	25 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、月 1 回午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、月 1 回午前 10 時から 12 時まで、学齢期にある当事者の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	10 回	5 組	35 人	ピアカウンセリング、話し合い等
学齢期	0 回	0 組	0 人	

(6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害 全般	療育	医療	教育	保健	福祉	就労	自立 支援	その他	合計
回数	3	4	1	3	0	4	3	5	1	24 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児（者）への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	1	3
	中 学 校	1	2
	高 等 学 校	2	3
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	0	0
	市 町 教 育 委 員 会	0	0
	市 教 育 研 究 所	0	0
	障 害 者 職 業 セ ン タ ー	0	0
	相 談 支 援 事 業 所	4	4
	就 労 移 行 支 援 事 業 所	1	4
	就 労 継 続 支 援 事 業 所	1	1
	若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	0	0
	市 町	1	1
	放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス	0	0
	医 療 機 関	1	1
	児 童 相 談 所	1	1
	企 業	10	10
	そ の 他	4	4
	合 計	27カ所	34件
支援内容	障 害 特 性 の 理 解		0
	指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言		30
	心 理 査 定		0
	事 例 検 討		3
	研 修 会		0
	そ の 他		1
	合 計		34件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児（者）に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	0	1	2	1	8	12人
延件数	0	1	3	3	16	23件

表2 障害種別

区分	実支援人員
自閉症	0
アスペルガー症候群	0
広汎性発達障害	10
A D / H D	1
L D	0
その他	1
不明（未診断含む）	0
合計	12人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症[※]外[※]ラム障害含む

表3 会議テーマ

内容	開催回数
家庭生活	1
健康・医療	3
教育	5
福祉	0
療育支援	0
進路相談	1
自立支援	0
就労支援	13
その他	0
合計	23回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	令和2年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（3日間研修）
月日 場所	令和2年12月15日（火）10:00～15:30 石川県こころの健康センター
内容	研修Ⅰ 講演「それぞれのライフステージでの発達障害受容 ～本人と家族を支える～」
講師	日本ポーターズ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 27人
月日 場所	令和2年10月20日（火）10:00～16:00 金沢市ものづくり会館
内容	研修Ⅱ 講演「それぞれのライフステージにおける発達障害支援～支援方法について学ぶ～」 演習（グループワーク）
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 35人
月日 場所	令和2年11月20日（金）10:00～15:30 石川県こころの健康センター
内容	研修Ⅲ ① 講演「就労支援機関での取り組み」 ② 講演「発達障害者をもつ人の就労と就労支援について」
講師	① 就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 ② 社会福祉法人 横浜やまびこの里 相談支援事業部 部長 志賀 利一 氏
参加者	保健、福祉、医療、労働等の関係機関での相談従事者 38人

研修名	令和2年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）
月日 場所	令和2年7月30日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	① 講義「発達障害者支援法について」 ② 講義「発達障害のある人への相談支援」 ③ 講義「発達障害とは」
講師	① 石川県障害保健福祉課 主事 穴戸 宏充 ② 発達障害者支援センターパース 統括課長 川畑 治代 氏 ③ やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	令和2年10月29日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義「アセスメントツール研修（概論）」
講師	臨床心理士 滋野井 圓 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	令和2年8月11日 石川県地場産業振興センター 本館2階 第1研修室
内容	講演「読字障害（発達性ディスレクシア）の早期発見とその支援 － 注意欠如多動症や自閉症スペクトラム障害に高い頻度で併存 － 」
講師	平谷こども発達クリニック 院長 平谷 美智夫 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人 *アセスメントツール研修会を講義の一コマに
月日 場所	令和2年12月15日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	講義①「ライフステージ別の現状～幼児・学齢期～」 講義②「ライフステージ別の現状～思春期以降～」
講師	日本ポーターズ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 16人
月日 場所	令和2年11月18日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	① 講義「発達障害とひきこもり」 ② 講義「就労支援の実際について」
講師	① 発達障害者支援センターパース 就労支援リーダー 吉本 真悟 氏 ② ヴィストキャリア武蔵ヶ辻 サービス管理責任者 榎本 真実 氏 石川障害者職業センター 上席障害者職業カウンセラー 茂木 雅美 氏、当事者 1名

参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 20人
月日 場所	令和2年8月～令和2年12月 計6回 石川県発達障害支援センター
内容	実習① 当センターが実施している当事者グループ活動への参加
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計 20人
月日 場所	令和2年10月～令和3年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	実習② 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計 21人
月日 場所	令和2年10月29日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習③ 当事者の声を聞く ・講演「トウジシャたちの当事者意識 寄り添う ▶ 向き合う ▶ 付き合う」
講師	大人の発達障害を明るく語る会 こころらぼ 代表 みっと 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 22人
月日 場所	令和2年12月8日 石川県こころの健康センター 研修室
内容	実習④ 発達障害がある人の支援方法について学ぶ(講義、ロールプレイ等) ・講義と実習「特性理解とアセスメントから誤解を防ぐ面談スキル」
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計 19人

研修名	令和2年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（フォローアップ研修） －発達障害者支援センターパースのペアレンティング研修と共催－
月日 場所	令和2年11月9日 10:00～12:00 石川県地場産業振興センター 本館2階 第1研修室
内容	講義「発達障がい者支援にかかわる人のための応用行動分析学を活かした支援」
講師	千葉県発達障害者支援センターCAS 副所長 田熊 立氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 15人
月日 場所	令和2年11月9日 13:30～15:30 石川県こころの健康センター 研修室
内容	意見交換会「県内における発達障害児者支援体制の現状と課題及び今後の可能性等についての意見交換」
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 14人
月日 場所	令和2年11月～令和3年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	事例検討会
講師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計14人

研修名	令和2年度アセスメントツール基礎研修
月日 場所	令和2年8月11日 石川県地場産業振興センター 本館2階 第1研修室
内容	講演「読字障害（発達性ディスレクシア）の早期発見とその支援 － 注意欠如多動症や自閉症スペクトラム障害に高い頻度で併存 － 」
講師	平谷こども発達クリニック 院長 平谷 美智夫氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（55人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）受講者（22人） 受講者計77人

研修名	令和2年度石川県発達障害支援センター関係機関研修会
月日 場所	令和2年9月8日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害の人たちの生きづらさとその支援」
講師	信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部長 子どものこころの発達医学教室教授 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	新型コロナウイルス感染防止のため中止

研修名	令和2年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
月日 場所	令和3年3月13日 石川県地場産業振興センター 本館2階 第1研修室
内容	講演「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋渡し update — つまずきの原因の理解と対応 — 」
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	医療、保健、福祉、教育、相談機関等の職員、保護者、一般 計 60人

研修名	令和2年度石川県発達障害者支援センター事例検討会
月日 場所	令和3年3月13日 石川県地場産業振興センター 本館3階 第4研修室
内容	参加者が発達障害児に対しWISC-IVを実施した事例についての事例検討
講師	日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志 氏
参加者	児童相談所、病院、学校等の発達障害児者支援に携わる職員で、事例を提出できる状態にあるテスター 計 16人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日時	会場	内容	対象及び人数
令和2年7月20日	県庁	健やかふれあい保育事業の対象児童認定に係る判定会	対象児童 128人
令和2年8月4日	国際高等専門学校白山麓キャンパス	国際高等専門学校職員研修	教員 7人
令和2年10月8日	小松市民センター	石川県放課後児童支援員等研修会	放課後児童支援員 103人
令和2年10月9日	ラピア鹿島	石川県放課後児童支援員等研修会	放課後児童支援員 28人
令和2年10月15日	地場産業振興センター	石川県放課後児童支援員等研修会	放課後児童支援員 132人
令和2年10月16日	発達障害支援センター	金沢医科大学看護学部学生講義	大学生・教員 13人
令和2年11月11日	ドコモCS北陸	ドコモCS北陸社員研修	ドコモ社員 38人
令和2年11月19日	発達障害支援センター	保育専門学園専攻科学生講義	学生 2人
令和2年11月19日	金沢家庭裁判所	金沢家庭裁判所職員研修	裁判所職員 25人
令和2年12月12日	白山市福祉ふれあいセンター	白山市発達相談センター講演会	白山市民 他 40人
令和3年3月30日	発達障害支援センター	coconomaカフェ 施設見学と講義	スタッフ 3人

Ⅲ 資 料

1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

(1) 相談区分別相談件数

区分		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健 康づくり	うつ・う つ状態	摂食障害	てんかん	その他
南加賀 保健福 祉セン ター	電話	2,254	118	1,268	83	2	7	2	25	359	317	0	40	33
	メール	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所(実89)	130	2	57	11	1	1	1	5	40	9	0	2	1
	訪問(実78)	205	26	108	5	0	0	0	2	32	24	0	8	0
石川中 央保健 福祉セン ター	電話	2,431	126	1,240	234	1	1	0	27	397	54	0	0	351
	メール	19	0	12	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
	来所(実79)	170	7	78	5	0	0	0	5	68	2	0	0	5
	訪問(実82)	353	10	167	22	0	0	0	0	76	2	0	0	76
能登中 部保健 福祉セン ター	電話	1,371	97	654	64	3	3	0	91	198	62	3	1	195
	メール	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	来所(実65)	149	11	43	2	0	0	0	26	43	11	1	0	12
	訪問(実56)	212	16	122	10	0	0	0	11	22	3	0	0	28
能登北 部保健 福祉セン ター	電話	751	9	504	28	4	1	0	6	39	55	0	0	105
	メール	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	来所(実23)	33	0	12	9	2	0	0	2	2	0	0	0	6
	訪問(実26)	65	0	52	4	0	0	0	1	3	4	0	0	1
金沢市 福祉健 康セン ター	電話	4,264	76	1,779	94	13	5	0	86	741	123	4	1	1,342
	メール	75	0	4	0	0	0	0	1	19	5	0	0	46
	来所(実268)	421	11	139	7	0	1	1	31	159	28	1	2	41
	訪問(実188)	586	9	397	7	1	0	0	11	39	0	0	0	122
保健所 計	電話	11,071	426	5,445	503	23	17	2	235	1,734	611	7	42	2,026
	メール	98	0	18	0	0	0	0	1	26	6	0	0	47
	来所(実524)	903	31	329	34	3	2	2	69	312	59	2	4	65
	訪問(実430)	1,421	61	846	48	1	0	0	25	172	33	0	8	227
こころの 健康セン ター	電話	8,410	60	4,497	47	8	76	24	157	2,623	420	8	7	483
	メール	21	0	3	1	0	0	0	2	3	6	0	0	6
	来所(実373)	1,120	1	104	17	2	87	10	171	592	115	0	2	19
	訪問(実75)	109	0	18	0	0	0	0	0	91	0	0	0	0

(2)年齢区分別相談件数

保健所		区分	合計	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	不明
南加賀保健福祉センター	電話 延		2,254	9	111	285	389	265	801	118	225	51
	来所 実		89	1	6	22	18	14	15	5	8	0
		延	130	1	7	38	27	18	19	11	9	0
	訪問 実		78	1	3	10	18	6	17	8	15	0
		延	205	1	13	21	59	11	49	14	37	0
石川中央保健福祉センター	電話 延		2,431	0	45	220	717	637	430	145	210	27
	来所 実		79	0	6	10	18	22	8	7	7	1
		延	170	0	6	14	71	31	29	8	10	1
	訪問 実		82	0	1	11	21	21	13	6	9	0
		延	353	0	1	59	114	96	44	11	28	0
能登中部保健福祉センター	電話 延		1,371	0	81	156	195	308	315	125	147	44
	来所 実		65	0	9	8	12	15	3	5	10	3
		延	149	0	27	21	26	32	9	14	16	4
	訪問 実		56	0	3	9	12	12	5	7	8	0
		延	212	0	7	38	53	38	26	25	25	0
能登北部保健福祉センター	電話 延		751	0	7	87	148	168	86	69	179	7
	来所 実		23	0	1	4	2	8	2	3	3	0
		延	33	0	2	6	2	13	2	5	3	0
	訪問 実		26	0	1	3	8	8	2	2	2	0
		延	65	0	1	9	22	18	2	4	9	0
金沢市福祉健康センター	電話 延		4,264	0	138	424	748	1,102	1,017	394	378	63
	来所 実		268	0	24	36	57	64	50	19	14	4
		延	421	0	36	43	85	98	95	36	23	5
	訪問 実		188	0	5	19	25	49	45	20	25	0
		延	586	0	14	34	63	158	165	67	85	0
保健所計	電話 延		11,071	9	382	1,172	2,197	2,480	2,649	851	1,139	192
	来所 実		524	1	46	80	107	123	78	39	42	8
		延	903	1	78	122	211	192	154	74	61	10
	訪問 実		430	1	13	52	84	96	82	43	59	0
		延	1,421	1	38	161	311	321	286	121	184	0
こころの健康センター	電話 延		8,410	32	198	816	1,548	1,477	2,768	660	161	750
	来所 実		373	2	94	77	83	41	42	13	8	13
		延	1,120	18	196	307	379	67	82	38	19	14
	訪問 実		75	0	0	6	12	18	18	4	2	15
		延	109	0	0	7	26	23	21	8	7	17

(3) 診断別相談件数

区分		合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
南加賀保健福祉センター	来所 実	89	1	1	16	18	5	1	0	4	1	0	3	0	4	35
	延	130	1	1	25	31	9	2	0	4	1	0	3	0	6	47
	訪問 実	78	7	1	18	21	5	0	0	1	4	0	1	0	5	15
	延	205	13	4	64	46	11	0	0	5	17	0	9	0	12	24
石川中央保健福祉センター	来所 実	79	0	1	12	7	3	0	2	2	1	0	1	0	41	9
	延	170	0	2	32	10	3	0	8	2	1	0	18	0	81	13
	訪問 実	82	1	3	20	13	5	0	1	1	5	2	0	0	24	7
	延	353	1	21	83	72	25	0	7	4	33	10	0	0	83	14
能登中部保健福祉センター	来所 実	65	3	0	13	7	2	1	0	3	4	1	0	0	0	31
	延	149	11	0	24	22	2	1	0	4	7	7	0	0	0	71
	訪問 実	56	1	1	19	6	3	0	1	2	5	0	0	0	0	18
	延	212	1	10	108	24	6	0	1	8	17	0	0	0	0	37
能登北部保健福祉センター	来所 実	23	0	3	4	2	1	0	0	1	3	0	0	0	4	5
	延	33	0	6	4	3	3	0	0	1	4	0	0	0	5	7
	訪問 実	26	0	3	12	1	1	0	0	3	1	0	0	0	3	2
	延	65	0	6	34	2	1	0	0	14	1	0	0	0	3	4
金沢市福祉健康センター	来所 実	268	4	3	36	32	10	2	3	0	17	1	1	2	2	155
	延	421	5	5	62	55	13	2	3	0	47	7	1	2	6	213
	訪問 実	188	4	9	71	29	12	0	8	7	11	0	1	1	3	32
	延	586	9	15	305	70	43	0	21	13	31	0	2	1	10	66
保健所計	来所 実	524	8	8	81	66	21	4	5	10	26	2	5	2	51	235
	延	903	17	14	147	121	30	5	11	11	60	14	22	2	98	351
	訪問 実	430	13	17	140	70	26	0	10	14	26	2	2	1	35	74
	延	1,421	24	56	594	214	86	0	29	44	99	10	11	1	108	145
こころの健康センター	来所 実	373	1	3	11	60	27	0	3	8	14	0	1	7	68	170
	延	1,120	1	6	21	210	66	0	29	13	54	0	1	7	209	503
	訪問 実	75	0	0	3	20	0	0	0	0	2	0	0	0	0	50
	延	109	0	0	14	27	3	0	0	2	9	0	0	0	1	53

※診断名はICD10に準ずる

※こころの健康センターの「その他」は異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

(4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	ひきこもり						
			10代	20代	30代	40代	50代以上	不明	合計
南加賀保健福祉センター	電話	312	2	31	6	33	0	0	72
	メール	0	2	0	0	0	0	0	2
	来所 実	7	1	3	1	3	0	0	8
	延	7	1	4	1	5	0	0	11
	訪問 実	15	0	0	0	2	0	0	2
	延	37	0	0	0	3	0	0	3
石川中央保健福祉センター	電話	143	1	39	87	55	21	0	203
	メール	3	0	1	1	0	0	0	2
	来所 実	6	0	3	8	2	0	0	13
	延	6	0	6	54	2	0	0	62
	訪問 実	8	1	3	6	2	1	0	13
	訪問 延	24	1	27	35	5	1	0	69
能登中部保健福祉センター	電話	96	32	94	50	91	2	0	269
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所 実	3	4	2	3	4	0	0	13
	延	13	6	15	8	9	0	0	38
	訪問 実	5	1	3	3	3	1	0	11
	訪問 延	12	4	19	10	13	12	0	58
能登北部保健福祉センター	電話	46	1	4	25	0	7	0	37
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所 実	0	1	0	1	0	0	0	2
	延	0	2	0	1	0	0	0	3
	訪問 実	2	1	0	2	0	0	1	4
	訪問 延	2	1	0	4	0	0	2	7
金沢市福祉健康センター	電話	621	57	61	48	91	25	0	282
	メール	44	1	1	0	0	0	0	2
	来所 実	19	13	11	8	5	6	0	43
	延	52	24	17	13	7	9	0	70
	訪問 実	19	1	3	4	4	1	0	13
	延	65	10	3	4	14	2	0	33
保健所計	電話	1218	93	229	216	270	55	0	863
	メール	47	3	2	1	0	0	0	6
	来所 実	35	19	19	21	14	6	0	79
	延	78	33	42	77	23	9	0	184
	訪問 実	49	4	9	15	11	3	1	43
	延	140	18	49	53	35	15	2	170
こころの健康センター	電話	191	8	154	89	12	24	16	303
	メール	3	0	1	0	0	0	1	2
	来所 実	18	2	46	35	4	3	0	90
	延	62	6	184	183	8	6	0	387
	訪問 実	1	0	1	3	0	0	0	4
	延	1	0	1	5	0	0	0	6

2 普及啓発活動

保健所	区分	講演会、自殺予防連携会議				ゲートキーパー養成等事業及び若い世代の心の健康作り事業			
	内容	人数	主なテーマ	対象	回数	人数	内容	対象	
南加賀保健福祉センター			なし		1	22	ゲートキーパー養成研修	大同工業新入社員	
					1	51	若い世代向けゲートキーパー養成研修	看護学生(小松大学)	
石川中央保健福祉センター			なし		1	22	ゲートキーパー講座	一般住民	
					1	4	ゲートキーパー講座	金沢学院大学実習生	
					1	19	ゲートキーパー講座	金沢医科大学実習生	
					1	83	ゲートキーパー講座	県立看護大学生	
能登中部保健福祉センター			なし		1	42	ゲートキーパー研修	七尾看護学校(2年生)	
能登北部保健福祉センター	1	23	能登北部圏域自殺対策ネットワーク会議	医療機関、消防署、警察署、市町自殺対策担当課、福祉事務所、生活困窮者支援窓口、労働基準監督署、ハローワーク、委託相談支援事業所			なし		
金沢市福祉健康センター	1		ひきこもり講演会(YouTube)	市民	1	4	ゲートキーパー研修	金沢医科大学実習生	
	1	42	メンタルヘルス研修	市職員	1	21	ゲートキーパー研修	菊川地区住民	
					1	1	ゲートキーパー研修	金沢市児童相談所職員	
					1	8	ゲートキーパー研修	大学生	
					1	5	ゲートキーパー研修会	大学生	
					1	450	かがやき発信講座	大学生	
					1	5	ゲートキーパー研修	大学生	
					1	36	ゲートキーパー研修	専門学校生	
					1	8	メンタルヘルスポランテア	ボランティア大学高齢者福祉コース受講者	
					1	5	ゲートキーパー研修	金沢大学実習生	
					1	5	ゲートキーパー研修	金沢大学実習生	
				1	4	ゲートキーパー研修	金沢医科大学実習生		
				1	42	メンタルヘルス研修(ゲートキーパー研修含む)	市職員		

保健所	自殺予防普及啓発事業(街頭キャンペーン、ラジオ、広報等)	
	回数	
南加賀保健福祉センター	6	街頭キャンペーン(加賀、小松、能美、川北)
石川中央保健福祉センター	5	街頭キャンペーン(白山、野々市、津幡、かほく)
	5	(FMかほく)メンタルヘルスについて等
	2	(FMNI)メンタルヘルスについて等
能登中部保健福祉センター	2	(ラジオななお)自殺対策強化月間について等
能登北部保健福祉センター	2	街頭キャンペーン(輪島、穴水、珠洲)
金沢市福祉健康センター	1	(Facebook、LINE)自殺対策強化月間
	2	(ラジオ)こころの健康づくり、自殺対策強化月間等

3 関係機関・団体との連携

保健所	機関名	支援内容	回数
南加賀保健福祉センター	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会DV対策部会	1
	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会障害者あんしん部会	1
	小松市	小松市くらし安心ネットワーク協議会いのちと心の部会	2
	小松市	小松市地域生活支援研究会	1
	小松市	精神事例検討会	6
	加賀市	加賀市地域移行支援会議	4
	加賀市	精神事例検討会	9
	能美市	能美市自殺防止対策連絡協議会	1
	能美市	精神事例検討会	4
	メンボラTOMOの会	メンボラTOMOの会役員会	1
	金沢保護観察所	精神事例検討会	6
	精神科病院	精神事例検討会	4
	石川中央保健福祉センター	白山市	共生の街づくり推進協議会 すまい部会・全大会
白山市		白山市障害者計画策定委員会	3
白山市		地域移行・地域定着支援会議	1
白山市		障害者差別解消のまちづくり支援協議会	1
白山市		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する研修会・打ち合わせ	2
白山市		ケア会議	9
野々市市		障害者基本計画等策定委員会	1
野々市市		ケア会議	4
かほく市		障害者福祉計画等策定委員会	3
かほく市		自立支援協議会・運営協議会	4
かほく市		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムワーキング会	1
津幡町		障害者地域自立支援協議会・運営会議	5
津幡町		ケア会議	2
内灘町		自立支援協議会全大会	2
内灘町		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場についての打ち合わせ	1
金沢保護観察所		ケア会議	7
家族会(ちよに会)		役員会	1
病院		ケア会議	31
社会福祉協議会		ケア会議	1
相談支援事業所		ケア会議	5
その他関係機関		ケア会議	2
松原病院・城北病院	MJカンファレンス	2	

保健所	機関名	支援内容	回数
能登中部保健福祉センター	七尾市・中能登町	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	6
	羽咋郡・市	羽咋郡市障害者自立支援協議会	2
	金沢保護観察所	医療観察対象者のケア会議、同行訪問	36
	羽咋市	事例検討会	1
	志賀町	事例検討会	1
	公立能登総合病院	事例検討会	3
	高松病院	事例検討会	7
	学校	事例検討会	3
	七尾市	同行訪問	6
	羽咋市	同行訪問	6
	志賀町	同行訪問	8
	相談支援事業所	同行訪問	26
	訪問看護	同行訪問	19
	みそぎ会	総会	1
	心明会	総会	1
	能登中部圏域家族交流会	打ち合わせ、連絡会等	3
	メンタルヘルスポランティア花の会	総会、定例会等	7
	能登北部保健福祉センター	奥能登地域自立支援協議会	全体会
奥能登地域自立支援協議会		専門部会「啓発部会」	5
輪島市		ケース会議	4
		同行訪問	4
珠洲市		奥能登地域自立支援協議会 珠洲市連絡会	1
		ケース会議	1
		同行訪問	1
穴水町		奥能登地域自立支援協議会 穴水町連絡会	1
		ケース会議	1
		同行訪問	3
能登町		奥能登地域自立支援協議会 能登町連絡会	2
		同行訪問	3
県立高松病院		ケア会議	2
公立能登総合病院精神センター		ケア会議	4
七尾松原病院		ケア会議	4
訪問看護		同行訪問	1
相談支援ピアサポート北のと		ケア会議	2
		同行訪問	8
生活支援Beネット日本海倶楽部		ケア会議	1
		同行訪問	3
相談支援キララ		ケア会議	1
		同行訪問	5
相談支援海と空	ケア会議	2	
地域福祉関係機関等	同行訪問	3	
断酒会	合同酒会相談	10	
家族会「輪水会」	総会	1	

保 健 所	機 関 名	支 援 内 容	回 数
金沢市福祉健康センター	医療機関・関係機関等	ケア会議	61
	金沢保護観察所	ケア会議	7
	泉野福祉健康センター	事例検討会	3
	家族会	総会・定例会における支援	3
	市民活動団体	連携体制の構築、情報提供	22
	ボランティアグループ等	ボランティア育成支援、ひきこもり長期化防止事業委託	4
	地域包括支援センター等	健康教育、連携、情報共有	4
	広域市町・市民活動団体	ネットワーク構築・交流、情報発信	1
	石川県	自殺対策担当者連絡会	1
	石川県 県警	警察官通報に関する連絡会	1
	石川県	退院後支援に関する連絡会	1
	石川県	地域生活支援連絡会議	1

4 集団活動

(1) 当事者活動

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター				ひきこもり社会参加復帰事業(社会復帰支援教室) 調理、散策スポーツ、手工芸等
石川中央保健福祉センター				
能登中部保健福祉センター	8	2	14	
能登北部保健福祉センター	9	1	9	
金沢市福祉健康センター				

(2) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	1	29	29	ひきこもり家族教室
	1	7	7	うつ病家族教室
	1	15	15	アルコール依存症家族教室
石川中央保健福祉センター	2	30	30	うつ病家族教室
	1	12	12	アルコール依存症家族教室
	17	33	81	ひきこもり家族教室
能登中部保健福祉センター	6	3	8	ひきこもり家族交流会
能登北部保健福祉センター				
金沢市福祉健康センター				

5 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧

(ビデオテープ (VHS方式)・DVD含む)

(令和3年10月現在)

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
児童	2101	SOSからの笑顔へ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60	小・中 高・一 般	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102～ 2106	子育てたまご (1) ～ (5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついている。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか！	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人っきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係を考える会(グループミーティング)のこと
	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD 1	284	児童	DVD	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちをつくるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD 3	336	児童	DVD	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 ―その理解と支援―	52	一般	DVD	制作・著作：内閣府
	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過剰な残業により、神経症やうつ状態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身をセルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス(心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そう病・アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のためのストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべきか。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対してどのように対処すべきか。

分類	番号	題名	(分)時間	対象者	ビデオDVD	内容
こころの健康	2213	開く-かける-つなぐ～精神保健ボランティア～いっしょにいこうよ～	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共にその大切さを訴える。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晚の入院で退院させることになる映画。
	2216	小さなほほえみのために～乳幼児突然死症候群SIDSから赤ちゃんを守る～	5	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217-1	企業戦士のメンタルヘルス①五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217-2	企業戦士のメンタルヘルス②出社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217-3	企業戦士のメンタルヘルス③燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217-4	企業戦士のメンタルヘルス④帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いので帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217-5	企業戦士のメンタルヘルス⑤スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害①職場の第一人者②妻として充実した家庭③母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だつて風邪を引く ～メンタルヘルス対策を進めよう！～	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティックバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート～女のスペース・駆け込みシェルターの現場から～	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティックの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもる心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループNABA活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ		
2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ	
2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために	

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオDVD	内容
こころの健康	2235	統合失調症の人の回復力を高める①回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について基本的な講義
	2236	統合失調症の人の回復力を高める②ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2237	統合失調症の人の回復力を高める③家族のSSTの進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業～統合失調症～		一般	DVD	2008年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30	一般	DVD	うつ病の人の94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら～悩んでいる人との向き合い方について～	172	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(講義編・資料編)	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	DVD	睡眠の基礎知識について。
	2246	睡眠保健指導No.1	23	保健指導	DVD	睡眠保健指導の意義と重要性について。
	2247	睡眠保健指導No.2	25	保健指導	DVD	睡眠保健指導の具体的な方法について。
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用DVD～(地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用DVD
	2249	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第1巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第2巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会社員の17年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK厚生文化事業団福祉ビデオシリーズ うつ病 第3巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。
	2252	平成19年度 いしかわ夢広場 3	59	児童	DVD	平成19年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を6編収録。
	2254	スポーツ祭東京2013 精神障害者 フットサル		一般	DVD	精神障害者のフットサル大会。
	2255	石川県ゲートキーパーDVDかけがえのない命をまもるためにあなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。
2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	DVD	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。	
2257	ひきこもりからの回復 全三巻	236	一般	DVD	「ひきこもり」の理解と回復の支援について	
老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人(一人暮らし)に対する訪問看護の仕方について。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
老人精神保健	2304～ 2305	痴呆老人の介護 (1) (2)	20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴 (症状) とそのかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護！～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。
	2307	痴呆性老人の在宅介護！～ボケのお年寄りの正しい理解のために～	25	一般	ビデオ	千葉市にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！～家庭介護の実際～	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く (上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。どうしても自分の足で立ってみたい！
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして！おばあちゃん	90	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方について。
	2315	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
2320	2013年 世界精神保健デー 高齢者のメンタルヘルス		一般	DVD	高齢者のメンタルヘルスについて。	
精神保健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差別で苦しんでいる。
	2404	つるい養成巴病院 (釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会の活動の様子を描いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気である。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発展とその紹介
	2410	支えあうなかで～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課税減免が認められている。
2412	今ここにいきる～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。	

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
精神保健	2413	ここにおいでよ～精神障害者を支える地域作業所～	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介
	2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。
	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連30年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第1巻 第2巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ③精神障害者をもつ人への援助の実際	23	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ④精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ⑤ノーマライゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。
	2436～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない前編 後編	30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1～四六時中のぞかかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(べてるの家)
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2～ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(べてるの家)
	2441	今日の精神科入院医療～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ!! 共生の時代へ第4巻ピアカウンセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウンセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	体験談を交えながら、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源について紹介。(ベテルの家)
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の模様を紹介。
	2447	ピアカウンセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウンセリングを共に学ぶ仲間づくり。
	2448	17歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の17歳が自分自身を取り戻す。
	2449	第1回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
精神保健	2450	～偏見を乗り越えて～癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
	2453～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)への すすめ～東尋坊からのメッセージ～(パート 1～9)	101	一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。①10分② 9分③15分④13分⑤15分⑥13分⑦9分⑧14分⑨3 分
	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループ NABA 活動紹介映像 映像版「いいかげん に生きよう」	20	一般	DVD	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッ セージなど。
	980	摂食障害 理解と回復のために	203	一般	DVD	第1巻 摂食障害かなと思ったら(53分) 第2巻 家族・支援者の皆さんへ(60分) 第3巻 経験者に聞く 回復までの道のり(90 分)
アルコール 関連	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連してい る。
	2502	アルコールの害シリーズ～10代の飲酒問題 ～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連してい る10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっ ている。
	2503	アルコールの害シリーズ～アルコール依存 者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し 合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ～女性とストレス ～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描 く。
	2505	アルコールの害シリーズ～胎児性アルコー ル症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性ア ルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	アルコール依存の症例をドキュメントタッチの 再現ドラマに仕立てて解説。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	依存症者の心理状態に迫る。
	2508	アルコール依存症～家族の心理～	23	一般	ビデオ	依存症者を取り巻く家族の心理の変化・接し方 について。
	2509	アルコール依存症～アルコール依存症から か回復～	27	一般	ビデオ	スリップ(再飲酒)の兆候・その早期発見から 対応まで。
	2510	アルコール依存症～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	断酒に失敗しないためのノウハウをあらゆる角 度から追求。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落 の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な 影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したも の。
	2515	あと一杯が飲めるか～ソーシャルドリン カーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師 さんが、飲酒によって起こる障害を予防するに はどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示 をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒 量の単位とは何か。肝臓の処理能力は、1単位 の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は 絶対危険。
	2517	お酒と人生～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単 位では本格的な酔い、体温が上昇、脈が早くな る・3単位では酩酊期、気が大きくなって怒りっ ぽくなる。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
	2518	アルコールキッド～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
	2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。
	2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。
	2524	お年寄りとお酒の付き合い方	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。
	2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。
	2528～ 2531	アルコール依存症への道(1)～(4)	各20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人のことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症～回復プロセスと再発予防～	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存～孤独そして絶望からの脱出～	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指す施設「ワンダーポート」の紹介。
	2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて
	2538	出所後の道しるべ ～薬物を使わない新たな人生に向かって～	62	一般	DVD	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する！	15	一般	DVD	薬物乱用防止の普及啓発。
	2540	“依存症”からの回復 第1巻 “依存症”とは何か	59	一般	DVD	依存症の正しい理解について。
	2541	“依存症”からの回復 第2巻 回復への道	67	一般	DVD	依存症からの回復のために必要な支援について。
	2542	“依存症”からの回復 第3巻 家族を支える	63	一般	DVD	家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復への道を探る。
	2543	あなたの大切な人とお酒の関係 アルコール依存症の理解と対応	24	一般	DVD	アルコール依存症の理解とその対応について(保健所等での相談対応の手法等)
	2544	アルコール依存症に対する家族の効果的な対応の仕方		一般	DVD	アルコール依存症に対する家族の対応について。
心理・面接技	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実際を分かりやすく解説したもの。

分類	番号	題名	(時間)	対象者	ビデオ DVD	内容
心理・面接技法	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法（生理的な緊張を解き、心理的な安寧を得ようとするもの）
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のためのA-B-A方式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解説。
	2605	絵画療法 [1]	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 [2]	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってきてもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 [3]	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接！	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接！！	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウンセリングの仕方を教示している。
	2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクの上で出来たカードを被検者に見せ、それぞれのカードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の性格や人格像を見極める。
	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トウ フェイス 1巻～マイクロカウンセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トウ フェイス 2巻～積極技法ほか～	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トウ フェイス3巻～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編①モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編②導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入・・・技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答・・・ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編③ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能（SILS）プログラム デモンストレーション編④実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編①服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編②基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編③病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
2623	自立生活技能（SILS）プログラム モジュール編④余暇の過ごし方モジュール	23	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。（ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど）	

分類	番号	題名	(時間 分)	対象者	ビデオ DVD	内容
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。 (突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導 (BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待①	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待②	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 第1講 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。
	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもちこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ① ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり ② 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	同上
	2638	ひきこもり ③ 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	同上
	2639	ひきこもり ④ 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	同上
	2640	実録・家族療法1巻「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法2巻「力動的精神療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2642	実録・家族療法3巻「システムアプローチ」に基づく	87	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2644	認知行動療法 べてる式	95	一般	DVD	べてるの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。